

気になるけど聞きにくい仏教のはなし

かみみょう

「戒名」ってなに？

「戒名」への誤解？

「戒名（かみみょう）」と聞いてどう思いますか？

ご葬儀の際には、欠かせないものであるので、「お布施」を連想したり、時には「やっかいなもの」とマイナスの方向に考えてしまったり・・・これは「戒名」について理解をする機会が極めて少ないことが原因の一つかと思えます。

そこで、改めて『戒名』について考えてみます。

「戒名」ってなに？

そもそも「戒名」とはどのようなものでしょう？

「戒名」とは、仏さまのお弟子（でし）になった「証し（あかし）」の名前です。この世を去って、仏さまの国へと行くあたり、仏さまのお弟子になる必要があります。通常「通夜式」の儀式で、故人を仏弟子にするお作法があります。そのあとに授けられるのが「戒名」です。仏式の葬儀には欠かせないものなのです。

「戒名」の中身は？

戒名は、故人の生前のお人柄、仕事、趣味、大切にしていたことなどを考慮し、仏さまの教えと合わせて経典から選び「漢字」で表します。ですからその方それ

ぞれの名前になります。でも、大まかに分類することはできません。

具体的には「院号（いんごう）」や「居士（こじ）大姉（だいし）」、「譽号（よごう）」や「信士（しんじ）信女（しんにょ）」など。あとは文字数などもあり様々です。各ご家庭で、昔から伝えられている「戒名」がある場合は、今の時代にはなじまないかもしれませんが、家柄や功績、先人の想いなどが入っています。

「戒名」をぱっと見て、何がどうか分からない方も多いと思いますが、分かる方が見ると分かる。「戒名」はある意味深いものがあります。「歴史的な人物の戒名」のような本もあるので、興味がある方もある程度いることが分かります。

「戒名」の継承とお布施

ご先祖様から伝えられる「戒名」を継承すべきか、というところ、結論からすると、「できれば」継承する方がいいと思います。「戒名」はその家の歴史を表すからです。でも「できれば」というのは、「戒名」は、葬儀の際のお布施に関わってくるからです。

葬儀の際のお布施は、葬儀にまるわる諸儀式を行う「儀式に対するお布施」のほかに、「戒名に対するお布施」が発生します。合わせて「葬儀のお布施」となります。この「戒名に対するお布施」が、どのような「戒名」にするかで変わってきます。ご当家の現在の状況等によってご考慮するとよいと思います。遠慮なくご相談下さい。

合掌